

# 建設経済常任委員会記録

令和4年2月22日（火）

場所：鳥栖市議会 第3委員会室



令和4年2月22日 日程

日次	月日	摘要
第1日	2月22日(火)	所管事務調査 重点テーマについて  〔協議〕

## 1 出席委員氏名

委員長 久保山日出男

副委員長 西依義規

委員 小石弘和

委員 齊藤正治

委員 江副康成

委員 池田利幸

委員 野下泰弘

## 2 欠席委員氏名

なし

## 3 出席した議会事務局職員の職氏名

議事調査係主事 赤司和広

## 4 日程

所管事務調査

重点テーマについて

[協議]

## 5 傍聴者

なし

## 6 その他

なし

午前10時57分開会

久保山日出男委員長

ただいまから、建設経済常任会を開会いたします。

oo

久保山日出男委員長

本日の日程でございますが、御手元に配付しておりますとおり、所管事務の重点テーマについて協議を行いたいと思っております。

この日程については、これでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

ありがとうございます。

それでは、本日の日程につきましては、そのように決定いたしました。

oo

所管事務調査

重点テーマについて

久保山日出男委員長

それでは、所管事務調査の重点テーマについて協議を行います。

御手元のタブレットに資料を配付しております。

よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それでは、これにつきましては、西依副委員長より説明をいたしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

西依義規委員

皆さん、おはようございます。

それでは、資料を御覧ください。

まず、常任委員会の運営についてスケジュールを書いています。

今日は2月22日で、本日は、所管事務調査のテーマの勉強会及び視察についての協議などということで、まず、これを見ていただいた後に、次の所管事務調査テーマっていう、A4、2ページのやつを御覧ください。

前回の委員会で、5つのテーマを皆さん方に選んでいただいて、まずはこれでいいかという確認と、大題だけつけてますんで、細かいイメージがつかなかったんで、今後、これをどういうふうに深めていって、最終的に執行部への提言、決議等、分かりませんが、どういう落としどころにするかのイメージを皆さん方にいろいろ御意見を頂けたらなと思っております。

あともう一つ、3番の土地利用のところ、以前は都市計画とか地区計画を書いていたんですけど、土地利用を含めて駅周辺整備を入れさせていただいて、もちろん、商工会議所からの陳情にもありましたとおり、駅周辺整備を考えてみるのはどうかと思って、私からの提案なんですけど、1つ追加をさせていただいております。

全体的には土地利用というカテゴリの中の、駅周辺の土地利用に含めて調査したいなと思って、新たにつけ加えさせていただいております。

以上で1、2、3、4、5、まず、このテーマでいいかどうかという部分についてはよろしいですかね、概要は。（「はい」と呼ぶ者あり）

それで、一つ一つイメージを、皆さん方に御意見を頂きたいんですけど、道路インフラ整備（国道・県道・市道等）に関する調査ということで、前は、狭隘道路をどうやって拡幅していこうかっていうことで、最終的には、地権者の寄附じゃなくて用地買収をしないという落としどころで終わっております。

特に、通学路等々の用地買収まで含めて、地区で計画をつくってもらって、例えば、田代地区だったらこの道路を安全道路に指定して、そこに、1件1件建物がないところをずっと買収していきなさいというふうな提言で終わってますんで、今度、我々のこの委員会でどういう道路インフラ整備の提言なり落としどころをイメージされているかについて、皆さん方の御意見を聞きたいなと思って。

いかがですかね。

例えば、国道、県道への陳情を積極的にするとか。

それとも市道の……、それともほかのところをするとか、いろいろ、この道路インフラ整備に関する調査のイメージを、御意見を頂けたら、そういう方向で進みたいと思うんですけど、いかがですか。

**久保山日出男委員長**

いかがでしょうか。

## 江副康成委員

まず前回、2年間、前委員会のほうで所管事務調査をされて、どういった流れになったのかというところを聞きまして、道路の関係はそれを受けての話なんだろうなというふうに思っています。

まずこれを見ると、つくばみらい市とか亀山市とか湖南省とかあるけど、単に、既に鳥栖市の課題解決のモデルがあるところをピックアップされているのか、いろいろ、視察とかよく行かれるところを出されてるのか、その辺り、まず私は思ったところをごさいまして、教えていただければと。

## 西依義規副委員長

すいません、説明が足りませんで。

3つ出したのは、前回の委員会からの、こういうふうにしていったらいいのかって思うイメージです。

つくばみらいと亀山は、我々が前回言った、生活道路を広げようという考え方の計画なり指針をつくっておられるところなんです。

それで、もう一つ、湖南は道路整備計画、滋賀全体の道路整備計画を立てて、じゃあ、ここに一体何十億円要るんだと、で、まず市の道路整備の優先順位を立てて、優先順位の高いところから整備していくという整備計画をつくっておられるところなんです。

これも前回の委員会で、鳥栖市も道路整備計画が必要じゃないかという提言をしますけど、市の考え方は、整備計画をするといろいろ問題があるとまでは言いませんけど、まずは都市計画道路が最優先で造る道路っていう優先順位があって、そのほかは整備計画はありませんというところなんです。

鳥栖市としても道路整備計画が必要じゃないかという意味合いで、これを載せさせていたでています。

だから、つくばみらいと亀山が同じテーマで、湖南が違うテーマっていうことです。

だから、最終的に落とすところを、鳥栖市に道路整備計画が必要じゃないか、で押すのか、生活道路をもっと広げようのところをもっと深めるのか。

この間の池田委員の提案で、全校区の危険箇所を出した資料が追加で出てきましたよね。

あれをもっと深めていって、校区の道路計画をつくる方向に行くのかという2つの方向性かなと思うんで、出させていただいております。

## 江副康成委員

まず、この他市の道路整備計画、これはもう本当……、富山県の南砺市って、もう大分前、私が建設経済常任委員のときに行ったりして、そのときから立派な計画等ありました。

せんといかんねと言いながらも、鳥栖市は実行できなかったという点があるということと、あと、この間の生活道路のやつ、交通安全のやつ、私、それを聞いて早速、ここもせんといかんと言ったら、とてもじゃないけど買収してまでできませんというのが現執行部の態度かになって。

結局、その後、何があったら——例えばそういう話を受けたら、至るところから来て、もう財政的にもちませんとかいう話がすぐ来るとなると、結局、財政的にどういったところで予算づけしてやってるのか。

そういう実務的なところでうまくやってるところにフォーカスして見るとか。

結局、例えば、鳥栖駅の橋上駅も、最終的には資金繰りがつかなくなったわけでしょう。

それなら、ほかのところはどうやって、予算、お金を工面してやっているのか、そういったところ、そのレベルのところをいろいろ見てきて、鳥栖市の参考になるんじゃないのかなと。

見ないことには先に進まんと思うんですよね。

だから、計画を幾ら持っても——立派なやつはいっぱいあるんですよ。

でも、立派なやつを持ってきたって、計画倒れして、計画だけつくただけで、時間だけかけて、最終的にやろうと思ったら、お金の工面がつきませんという話になってしまうわけやけん。

これ、私もずっと経験……、となると、どういった形でどこから予算を取ってこれるのか、そういったところにフォーカスしてやらんと、進まんですよと私は思う。

#### **西依義規委員**

十分おっしゃることは分かるんですけど、例えば、財政の平準化とか長期になると所管が総務になってしまって、道路だけでやれる部分じゃないんで、そうなるちょっと逸脱してしまうんで、だから、道路インフラ整備に関する調査は決まったんですよ。

だから、どういう道路インフラ調査を……、計画は要らないんじゃないとか、そういう意見やったら、じゃあ計画じゃない、どういう道路インフラ調査をやっていけばいいかを。

御意見を頂けたらそっちの方向でシフトをしていこうと思いますけど、何か御提案ありますか。

#### **小石弘和委員**

所管事務調査の報告書を出すまで、大体どのくらいの期間を見とるわけ。

#### **西依義規委員**

一応1年です。

で、最悪2年です。



我々の任期が終わる2年後の9月の本会議を予定しています。

#### 小石弘和委員

これだけのテーマを1年で片づけるのは無理よ。

これだけ、5つ、幅広いよ。

そいけん、これはやっぱり1年じゃ無理。

私は、やっぱり2年かけてやるべきじゃないかなと、深めるためには。

私はそういうふうに思うけん、その部分を、やっぱり2年なら2年。

1年なら1年と決めてテーマ自体を削減していかんと、ちょっと無理じゃないかなと。

これだけ……、いや、もう全部がいったって言うなら、2年間かけて所管事務調査の報告書を出す、提言するというようなことをしていただくことには、短期間ではちょっと無理じゃないかなと思う。

以上です。

#### 西依義規委員

分かりました。

じゃあ2年ということでもいいですか、まず。

ただ、2年でも、この道路インフラ整備をもうちょっと狭めんと、おっしゃるとおり、広すぎて調査が行き届かないんで、今のタイミングで道路インフラ整備をどこに絞っていくか、御意見を頂ければいいなと思って、こういう時間を取らせていただきました。

#### 池田利幸委員

すいません、その前に、まず僕もお伺いしたいことがあります。

5つのテーマがあるじゃないですか。5つのテーマを同時進行で進めていくって話なんですか。

それとも、まず3番の土地利用から進めていきましょかっていうやり方でいくのか。

僕、前の時も言わせてもらったんですけども、今回、3番の土地利用のところは駅周辺整備が入っています。

その部分、要は、3本の計画道路にしても、大きな道路を通すためのインフラ整備をしましょというときに、必ずこの駅がぶつかるんですよ。

この駅が高架になるのかとかそういう部分で、道路が、県とかと協議する部分に関わってくるってなると、インフラ整備っていうのを最初にしても、多分、駅を後にしたら話のつじつまが合わないのかなっていう部分。

で、駅が決まる——ここで駅を決めることは多分できないんでしょうけど、方向性的に行きますってしても、そこからつながる東西連携の道路とかの話、大きな、要は新しく道路を

つけましようとかいう話をしても、多分できないんじゃないかな。

そうなってくると、通学路なら通学路っていうのを、もう、ぼんと持ってきて、通学路の拡幅、安全対策っていう部分で持っていくのか、前2年では市街化区域の生活道路の拡幅っていうのを、たしか調査でされてたと思うんですけども。

特化して、通学路の子供の安全対策っていう部分に持っていくのか、新しく、大きく、道路を造りましようとかこっちから提言しても、駅が決まらないとできませんっていう話。

多分、市もなるし県もなるしっていう話かなっていう。

その部分、まずどの順番で進める——同時進行するのであれば、インフラ整備はさっきから皆さん言われたように、もう若干、的を狭く絞っていく必要があるんじゃないかな。

順番的にいったら、土地利用からまず考えていかんといかんのじゃないかなと私は思っています。

#### **西依義規委員**

そういう意見をどんどんください。

#### **江副康成委員**

まず、今小石議員から言われたところ、2年間というのはもうそういう流れでよろしいんですね。

前厚生常任委員会も2年間で1つのテーマをやってましたので、だろうなと私も思ったんですよ、1年間？と思って。

それと、予算の件は総務というよりも、最終的に予算の全体の調整をやるのは総務的な話で、結局、こちらのほうでも歳入も歳出も両方やってるでしょう。

だから、どういうところでどういう予算が取れるからこの事業をするという観点、これは当然やっていいはずだと私は思うし。基本的に提案だから。

執行部にそういう提案してくださいと、歳入を見ながらやってくださいって話で、先ほどの生活道路のところの道路を買ってというやつも、今回——さっきの繰り返しになるけど、国の国庫補助をもらえるならば、そのお金で買ってやるとかですね。

もう非常に足が重いんですよ、買ってまでやれって言われると。

となると、例えば、高架事業は国交省とか行けばいろんな事業があると思うんですけど、どういった財源スキームでやってるのかというやつを、いろんなどころのその部分だけでも取って見比べる、あるいは橋上駅でも同じ、あるいは道路のところ、生活道路、狭隘などころのやつ、ほかのところの……、どういった形で予算を取りながら事業を進めてるか、そこにフォーカスして、そういうデータのものをばーっと合わせて、見比べて、ほかのところと鳥栖市の体力、経済力というか——見ながら、こういうところがこういう形でできるんだっ

たら、鳥栖はなんでできんのかというような、少しプレッシャーをかけながら、このぐらいでやれというぐらいの資料を集めるというような形で進めていったほうが、市民の期待には応えるんじゃないかなと、私は思いますけどね。

#### 久保山日出男委員長

私から言わせていただくと、今まさしく江副さんがおっしゃったように、どうしても、やはり執行部側が勉強して、いかに我々の意見を聞いた上で——こういうのはあるがどういう予算があるかとか、行けば国、県は教えてくれるんですよ。

何も出さなかったら意外とそのまものべんだらり、うちの場合は、都市計画道路も何十年ってほったらかしとって、消したこともありますしね、真木のところも。

ああいうふうで、やっぱり職員にこっちが活を入れるためにも、どんどん、ある程度案をつくり上げておいて、こうしたいんだけどって言って投げかける、予算確保について生かせると。

そして、またそこでディスカッションしながらでもやるということではしていけば、おっしゃるようなものが構築されていくんじゃないかなと私は思いますけどね。

#### 江副康成委員

委員長、どうもありがとうございました。

そういう意味で、所管事務調査して、執行部の応援っていうか、仕事がしやすい環境を整えてあげるといような観点でやったほうがいいと思うんですよ。

執行部と全く別に、こんなことをやってるぞとかっていうやつを、宿題を投げかけたって、消化して自分の分にならんと何もならんわけやけん、というふうに思います。

#### 西依義規委員

ちょっと整理をしたいんですけど、ということは、国のいろんな補助を調査して、それを執行部に……、もうちょっと分かりやすく言ってほしいんですけど。

#### 小石弘和委員

今の話を聞くと、結局、道路インフラ整備、国道、県道。

予算とかいろいろ言うなら、もう市道に絞るべきですよ。

そりゃあ、国とか県は、予算とどう関係あるか分からんはずですよ。

そいけん、恐らく、所管事務調査も市道にもう区切ったほうが早いんじゃないかな。

私はそう思うけど。

それを幅広くするとね。

#### 江副康成委員

小石議員の御意見、非常に私も思うところあるんですけど、先ほどの副委員長からの御質

問に答えとかんといかんなと思って。

補助事業どうのこうのじゃなくてですよ。

高架とか橋上駅、いろんな、それぞれの事業があるじゃないですか。

そんな幾つかの事業をどういった形で進めたかというところ、財政的な裏づけの部分ピックアップして、参考資料にできんかというような話を行ったわけであって、補助事業だけ見るんじゃないくて、そういう話でございますので。

それだけです。

#### **齊藤正治委員**

前回の所管事務調査で要望を出してる中に――要するに、市街地内の農地をいかに活用していくかっていうことかなと思うんですけどね。

それはやっぱり、場所だけ言えば、例えば、水影神社の裏をずっと通ってる道路、もう少し……、4メートル以上にしていとか。

それから、水影神社のところもそうですけれども、村田もそうですけれども、立石もそうですけれども、続けていけば、ここまで通していけば、そこは生活道路になるわけですよ。

だから、そういったところをしていって、やっぱり建物も建てられるようになるというようなことで。

そして、今のうち、農地のうちに早く工事をすることを大前提に考えておかないと、なかなか、予算が幾らあっても先に進まんというようなところもあるとかなと。

どこがここがというのは、見れば大体、ここを広くすればここは家が建つねというような田んぼがあるわけやん。

そういったところを見出していって、ここはやっぱり、当然、寄附じゃなくて、市の道路整備として通していくっていうような、予算執行していくっていうような形を取られたほうがいいのかというふうに思いますけれども。

#### **久保山日出男委員長**

確かに、本鳥栖なんかは、選挙のとき皆さん回られたと思うんですが、入りにくいようで、どこに抜け道があるのか分からんような状態の……、水影神社かな、東側のことだと思うんですけど、確かにおっしゃるとおりで。

本当に、村田の中も狭い道が結構あるところでございますし、やっぱり、ある程度絞りあげて、起点を指定するような話ができればね。

#### **西依義規委員**

今のイメージは、多分、道路の新設って話ですよ。

もう全く違うところの拡幅なり道路……（発言する者あり）

じゃないんですか。(発言する者あり)

その3番の土地利用のところも関わってくると思うんですね。

それが1番と3番が、だから、その辺は今の私のイメージは、例えば、萱方線してます、浄水場線してます、今、3本してます。

じゃあ、4本目、5本目、次の委員会として、じゃあここがいいんじゃないかっていうような調査の新設もありかなと思うし、くまなくってすると執行部側に何も伝わらないんで、ここの道路をっていうのは、この7人で、もう立石のこの道路が、みんな広げないかん、なら、もうそれを決めたような提言なりをしていきたいなと思うんですよ、まとまるような提言を。

そういう方向でいいですか。

#### 齊藤正治委員

市内の新設道路っていうと、循環道路をどうやって造っていくかという、1つの循環を一番大外回りとか中回りとか。

そういった循環をどうやってつなげるかっていうのを、やっぱり考えることも必要じゃないかと、そういう意味では。

#### 江副康成委員

まず、今、前委員会の継続のやつの中の土地の道路の関係のところを話してるんだというふうな御理解でよかですかね。

あと、新設の観光と産業雇用のところもあるんだらうなということ的前提にしながらですよ、という話でよろしいですね。

それで、道路の関係からいうと、鳥栖は2町3村が合併して、田舎から都会化してきた過程にあると思うんですけど。

50戸連たんの話もあるように、既存集落、なかなか衰退してる、しつつあるというようなところあるじゃないですか。

そういうところは、なぜ……、細い道しかないとかいろいろ……、そういうときに、結局中のやつを広げるって、家が建つと、権利関係いろいろ複雑ですよ、なかなか難しいんですよ。

そういうのができないからできなかったわけで、そうすると、結局、外のほうに1本バイパス、集落のバイパス——大きなバイパスじゃないですよ、集落の外に回るような道路を1本造ると、そこから中に畑等を通して道を入れると、そこが宅地化する可能性が出てきて、活性化する。

併せて、そのときに用途区分の見直し、線引きの見直しの話があって、既存集落、市街化

調整区域多いけど、そういう道路を造りながら、調整区域を市街化——もともと、どこでももう下水は走っとるけんですよ。

下水走っとるところに道路を1本造って、そして1本、外に田んぼを用立てしてもらって造って、そこから集落に入れて全体を都市化するというような、基本的に大きなスキームでそういうことができんかと、できるところはないかというようなやつをやると、少しでも道路の……、道路でも、田んぼやったら、安く買える可能性もあるし、そういう話。

**久保山日出男委員長**

要するに先ほどの齊藤委員がおっしゃったのと同じ考えですね。

**江副康成委員**

同じかもしれないし、水影神社のところ……

**久保山日出男委員長**

1本道を造れば、余ってる残地が、田んぼとか空いてるところにも、住宅の推進が図れるんじゃないかということ。

**江副康成委員**

外に広がらない前の集落の外を、1本入れておくという話。

**久保山日出男委員長**

齊藤委員さんの考えと一緒にだよね、今言われたの。

**江副康成委員**

基本的には一緒と思うんですけどね。

やり方がどうか分からんけど。

**久保山日出男委員長**

ほかに。

**齊藤正治委員**

もう一つ言うと、さっきのやつは、少なからず周りから——要するに、味坂インターができるわ鳥栖久留米道路ができるわ、こっちはこっちで、また国道3号、34号の問題もあるけれども。

だから、そういったときに鳥栖市がせにゃいかん、そのつなぐ道路がやっぱり見えてこんたいね。

例えば、味坂から入ってきたって、それからどこ行くのっていう話やん。

今のところ、市の考え方としては、案内看板を造って誘導しますよっちゅうぐらいの話で、その案内看板も、入ってきたやつは商工団地に抜けて酒井西・真木線を通ってバイパスに行きますよ、例えば国道34号に行きます。

そんなことしかないたいね。

果たして、それで消化できるとかなっていう、安全性も含めて思うとばってんが、そういう課題も一つはあるかなっていう気がします。

#### 池田利幸委員

私、通学路に絞ったほうがいいんじゃないかって言った部分もあるんですけど。

基本的には、要は、今の時代しかできないこと、今、建物も大体40年、50年たって、普通の家とかももう建て替わってるとか、空き家になって、新しく買手がついている。

田代の辺でも、長崎街道沿いの辺りもほとんど空き家になってて。

その辺りを広げられるチャンスというのは、多分、今しかないかなって私も思ってた、田んぼももちろんそうですし、そういう空き家対策というか、空き家とかが大分増えて、もう建て替えになってるときに、セットバックしてもらったり、もう道を広げていくっていう部分。

ただ、要はここ、多分私たちがやれることってというのは、市道に関してっていう部分に、まず、小石委員も言われてたんですけど、県、国はおのずと別で計画があるでしょうけん、それに対して、その計画に沿って、齊藤委員も言われてたように、今しかできないことを市でどうやるのかっていうところをやるっていうのは必要なのかなと。

なんで、その考えでいくと1番と4番はもうセットでやっていく。

浸水対策とかは別でできるかもしれんですけど、1番と3番、土地計画とインフラ整備はもうセットでやっていくっていうことになるのかなと思いますし。

そうなってくると本当に、1番と4番で何に絞るかっていうのをしないと、もう2年間ではまずできないのかなと思いますし。

もう、1番は1番ですってしたら、本当に、市道の通学路はどう安全対策を取るのかとか、危険箇所をどう改善していくのかとかいう部分ぐらいで絞らないと、多分2年間では全く決め切れないかなあとは思いますが。

以上です。

#### 西依義規委員

すいません、小石委員が市道に絞ってっておっしゃったじゃないですか。

どういうイメージで市道のインフラ整備を進めたほうがいい……、絞るは絞りましたと。

で、その市道を、鳥栖市に、もっと広くしろとかもっと新しい道路を造れとか、その辺のイメージが……、市道に絞った後の次のステップは、どういうふうに進めたほうがいいのかなと思って。

#### 小石弘和委員

今、齊藤委員が言うように、やっぱり、外回りの線が、非常に市道にむらがあるわけ。

だから、例えば、極論を言うと、新産業集積エリアが動けば、商工団地からずっと来て—あそこちょうどタイヤ屋があったろう。

あの道を真っすぐ、田の中を突き抜けて旭のほうに持っていけば、私は一つの新設道路が出来ると思うわけ、今ならね。

そうすると結局、外回りの線が非常に楽になってくる。

そして今、その4メートルの道路のところが混雑するから、恐らく拡幅は難しいけど、その次のつなぐ道路を新設なり拡幅を行うと。

そいけん、池田君が言うように、空き家のところじゃなかなか難しい面も出てくるわけ。

部分的にセットバックしてくださいというようなことは。

そいけん、新設も含めながら、その道路拡幅と—恐らくちょっと調査すれば、この道は500メートル広げれば、もうある程度解消するんじゃないかなというふうなことが何か所かあるわけ。

それを絞らんと、ちょっと難しいんじゃないかなというふうに私は思います。

#### 久保山日出男委員長

今、小石さんがおっしゃったところは、下野からも要望上がってたんですよ。

真っすぐ来て、それで消されたとよ。

だから今、小石議員がおっしゃった、家の前を真っすぐ行ったら、本当に抜けられるとですよ。

ただ、効果がない家がちょっとね。

アンダーとかああいうとの問題は解消されないけれども、道としては、本当に立派な道として、流れが変わってくるんですよ。

あれは1本に造り上げたほうがいいかなと思う。

ただ、橋の関係が、国交省関係であるんでね。

あっちの方の予算の獲得がまた必要になってくるたい、そうなれば。

下野は幅が結構あるでしょう、集落の中に入っていくのに。

あれはもう、本当、下野の方が望んであったけれども、ならんやっただけでね。

だから、そういうのは、今、小石さんがおっしゃったのが1本出来ると、東西の流れが変わってきますね。

そうすると、今、味坂から来た後の分はこっちに流し込んだ形にもなるかと思うけど、とにかく高架がなってないけん。

それは旭地区とかいろんところ考えて。



一番……（発言する者あり）何か一瞬でみんなバイパスに集まったり、3号線に集まったりしよるけん。

そうすると、これも筑後川流域の協議会の辺りをずっとしていきよるとは、その関係でしていきよるんです。

しかし、鳥栖側のほうには何のメリットもないんですね。

南側の道路のバス、下野にも行けばいいのに。

そういうのも、我々が考えていっていいかもしれないですね。

旭のことばかり言いよるけど、いい案を言っていたから。

#### 江副康成委員

今のところのやつの話も、私もぜひやるべきだと思うんですけど。

ただ、この委員会、そこに特定せんといかんという、その必然性が強ければいいかもしれないけど、いろんなところの地域の事情を抱えて皆さん来てるわけだから。

いろんなこといっぱい知っとるわけよ、私たち。

そこだったらほかのところもせんといかんというようなところもあって、そういう計画だけのやつをもう一回やるのかですよ。

となると、もともと、建設部関係のやつは、もう既に2年間ずっとやられてて、そのままもうやらないというのももったいないけんが、継続はするけど年に1回程度というか、非常に時間を落として、そして、フォローしながらやるような、今までのやつのできなかつた部分を、前回やろうとしたやつをどうやったら実現できるのか、というやつ観点からやるのかなと思ってですよ。

ここで改めて、道路行政に対してどうすべきかという話をやるような話じゃなかったんじゃないかなというふうに思ったもんで。

どういうふうに進んでるのかなと、非常に思ってるところがありましてね。

要は何を言いたいかという、前回のやつ、せっかくいろいろまとめてもらってるから、それをいかに、あと少しどこが足らんかったから実現まで行かなかったのかというところの問題点に絞ってやるということにして、よかったら今回——前回建設部関係の場が多かったじゃないですか。

今度、経済部関係のやつに少し時間を寄せてやられたほうがいいんじゃないのかなというふうに、前回言ったような気がしたもんで。

そこも併せていかがかなあと、皆さんどうなんですかね。

#### 池田利幸委員

すいません、私、このインフラ整備のところでしたら、前は前回でいいのかなと。

私も江副委員と一緒になんですけど。

基本的にこのインフラ整備、今皆さんの話をお伺いして、私の考えでもあるんですけど、このインフラ整備って、多分、大きく、安全対策取るのか、それとも鳥栖独自の市道が全部幹線道路につながって、そこで渋滞を起こしてるっていう部分で、新たな道路の新設、拡幅まで含めた生活道路と幹線道路を切り離す渋滞緩和とか、そういう部分のやつでやるのかの2択しかないのかなって、私自身は思ってます。

なんで、細々というよりも全体を見て、安全対策の面でどうやるのかとか、道路の新設を含めて渋滞緩和とかを――要は、生活道路と幹線道路を切り離すための提言とかやるのかとかいう部分の2択なのかなって。

じゃなければ、もう1と3をべったりくっつけて1つにしてしまったほうがいいのかと思います。

前は、多分、浸水、観光産業っていうのはやられてなかったんで、私もここ盛り上げていけるほうに力を入れて話ができればなとは思うんですけども。

こっちのほうが、多分、実現性としては近いのかなって、インフラってどうしてもそこまで提言持って行ってすぐなるっていうわけではないのかなと。

ただ、観光にしても産業にしても、提言入れてこっちからイメージっていうのを投げかけることによって、ここはやっぱり、なかなか役所が自分たちでつくろうとしないところではあるんで、ここ力入れられたら、面白いんじゃないかなと。

で、これがまた30年後、50年後っていう部分、インフラ整備も、もちろん、この辺が盛り上がってきたら、根本はインフラがないとどうもできない話ではあるんで。

ただ、皆さんが御想像されてるとおり、全部をやろうとしたら、まずもって時間は足りません。

インフラ整備って、ぐっともう大きな枠の2つとするか、もう、1本のここだけとかいう部分でやるかのどっちかでしか、多分できないんじゃないかなあと思うんですけどね。

#### **西依義規委員**

道路の新設はおっしゃったとおりで、だけど、利害関係があれなんで、そこはどうかなっていう意見でいいですかね。

#### **江副康成委員**

すいません、変なところに入ってから反対したからあれやけど。

要は、前回2年間かけて提言されて、提言されたやつは実行してくださいって形で、前委員会がやったわけじゃないですか。

それを、あと2年間見守るぞと、見守り続けるぞと。

ちょっと前に提言されて、時間がなかったからすぐできなかった可能性もあるしですよ。

これから時間かければやれるかもしれんし、そういったところを、その提言の内容をずっと2年間、時々見守りながら、できるのか、できるのか、と言い続ければいいんじゃないかというのが、私1つ。

そして今回、新たに——浸水はしなかったんですか、前回。

前は浸水なかったですかね。（「してます」と呼ぶ者あり）

してるなら浸水の提案、提言もあったでしょうから、それを提言したようにやってくれというふうに、2年間見守ると。

今回は経済部関係、観光だとか雇用とか産業とか、そういったところをやられたらいかかなという話で終わったのかなと思ってたんですけど。

### 西依義規委員

いや、江副委員が何で道路の新設の提案を反対されたのかがよく分からなくて。

私は、この7人の利害が調整できれば、一番市民の理解がある空間だと思うんですよ。

もちろん、1本で無理ならじゃあ3本提案しましょうとかしていったほうが、僕は委員会の将来性というか、提言等にはつながるかなと思ったんで。

あともう一つ、前回のを見守るっておっしゃったけど、前回、例えば、小学校区ごとに地区計画道路を造りなさいってところを提言したんですけど、ちゃんとそこはしていただいているんですよ、今。

そういう方向で動こうとしてるんで、そこは一応つながってるんですよ。

ただ、道路計画はつくれませんというところで終わってるんで、だから今回、道路計画でいくのか、それとも、計画があって予算があるんでしょうから、方針、構想があって計画があって予算っていう順番なら、構想がないと計画がないんで、その構想を一緒につくったらどうかなって。

僕は、小石委員と齊藤委員のおっしゃったことにとても共感を得たんで、そっちの方向でいきやすいイメージができたんで、どうかなって。

そこに反対されてるんで、どの辺が反対なのかなっていう。

### 江副康成委員

反対と言われるとあれなんですけれども。

前回のやつをどこまで理解してるか分からんけど、前回やろうとしたところがあった部分、できなかった部分があるんじゃないですか。

だからできなかった部分はそれでやめるんじゃないかって、あと2年間あるから、どちらかという、ウエートのかけ方で、ゆっくりなペースで、ずっと投げかけながらやりたかったと

ころまでやられていいんじゃないですか。

それが今言われたところの話であれば、それはそれでいいんでしょうけど、前回の流れの中で……（発言する者あり）

そういうことですよ。

だから、めり張りをつけて、2年間、建設部関係ばかりやったやつを、また2年間ばかりという、やっぱり建設部も言われれば、それに対応しながらやらんといかんし、限られた時間のペース配分もあろうし、いろんな仕事も抱えてるから。

そういう意味で、ウエートを建設部から経済部に落としながら、ただ、前回のやつを、やるべきだと言ったやつはやってもらいたいという気持ちは、ずっと持ち続けたらということですよ。

#### **齊藤正治委員**

いずれにしても、道路を整備せんばいかんことは、これはもう事実です。

これが全てを、経済も情報も運んでくるわけですから、やはり市道はきちんと整備をしていくっていうのが、最大限の私たちの仕事だと思ってますけれども。

それはそれとして、1回、例えば、国道事務所、河川事務所、それから、東部土木事務所、現在の国道と県道の状況、どういうふうな計画で進んでいって、どういうふうになっていくのかということ。

それで、それに合わせて、うちは現実的には今2本しか整備をやってないわけですがけれども、それで果たしていいのかどうかっていうことを含めていくと、大体、全体的な道路の整備の内容、あるいは市道が何をせんばいかんかかっていうところは出てくるんじゃないかならうかと思えますけれども。

そういったことも、やっぱり、当然、道ですから全部つながってるわけで。

そこは、国と県の現状を、今、結構、出前講座とかそういったのありますから。

浸水対策は、今、河川、土木事務所も市も、要するに、川の底上げっていうか、底を下げるか。

そういったので一生懸命されているのは事実ですけど、それで果たしていいのかということと、流域治水の問題とかいろいろございますけれども、これは一朝一夕にできるようなお話でもないし、そういったことを、やっぱりまず把握を、河川なんかもほとんど県河川ですから、それを把握していくっていうことも、必要なことではなからうかと思えます。

#### **池田利幸委員**

齊藤委員とほとんど一緒なんですけど、テーマを決める前に講師っちゅうか、国、県、また、2番の浸水対策だったら流域治水、筑後川河川事務所がやっていますから、それをこっち

から出向くか講師に来てもらうかして、一旦話を全部聞いてみて、その中から、じゃあ鳥栖市は何をやればいいのかっていうのを、1回話を聞いてから考えてみませんか。

予備知識がない中でやるより、今の国、県の話全部、一旦皆さんで共有で頭に入れてから、じゃあ鳥栖市は何ができるの、何が必要なのっていうのをもう一度考えてみたら、話はつながりやすいのかなと思います。

#### 江副康成委員

私も池田議員と全く同じで、というのは筑後川の対岸の久留米、もうこれ流域治水の話で——市長選挙もあったけど、非常に盛り上がったわけですよ、向こう側は。

こちらのほうが、非常にそれからすると温度差があるんですよ。

一部はあるけどですよ。

この間、山口知事も来られたんですよ、賀詞交歓会に。

そのときに、鳥栖市も浸水問題あったんですねというやつを市長から聞かれましたと。

私も橋本市長に会うときに、流域治水をせんといかんですよと一生懸命ずっと言ってる人間やけど。

だから、そういう話で、恐らく久留米と同じぐらいの気持ち、向こうは当然、市街化が先に進んでるんで、浸水とかいっぱいあるという mismatch もあるかもしれんけど。

こっちも新産業とか——あるいは既にいろんな集落もあるわけやからですよ。

やっぱり同じようなところで考えて、少なくともペースを合わせるような形、今佐賀県はどっちかといったら六角川とか、向こうに、河川の箇所を下げたりとか、向こうは420億円か、かなりお金を取ってるけん。

#### 久保山日出男委員長

要するに佐賀県っちゅうと上峰の裏のほうとか、下田地区とか、そこら辺のところの整備やんね、千代田辺りの町しかしとらんっちゃん。

あとはほとんど福岡県側ばってん、久留米のところまでは。

福岡県側が相当進んできとるもんね、いろいろな面で。

#### 江副康成委員

まさしくそういうことで、併せて流域治水も将来的にも必要があれば続くんやろうけど、一応5年とか期限を切り上げてやってるとかあるんですよ。

やっぱり早めに声を出さんといかんと思います。

それを、執行部の、もっともっとお尻をたたくような形でやっていただきたいなと、それを委員会でやっていただきたいなと思いますけどね。

#### 西依義規委員

ちょっと時間もあれなんで、1番、2番、で、3番、4番、5番も御意見頂いていいですか。

全部まとめていいんで、どこからでもお願いします。

#### **久保山日出男委員長**

よろしければ、4番、5番を含めて御意見をお伺いしたいと思います。

#### **西依義規委員**

今みたいな、方向性とかこういう調査をしたほうがいいんじゃないかみたいな。

#### **池田利幸委員**

4番は、僕、自分で言い出しっぺっていう部分もあるんですけど、ここは本当に、観光ポイントつないでいけば、そんなにお金も時間もかけずにできていくんじゃないかと、これはよその自治体とかがやってる事例とか見ながらと、あと、どうつなげばいいんだっていう鳥栖市のマップ上でやっていくっていうことで、これはできるんじゃないかなと私は思ってるんで。

もうそういう方向性、今副委員長が出してもらってるような計画、ほかのところの計画も見ながら、あとはどういうつなげ方ができるのかっていう部分を、ここでできるだろうと思っております。

#### **江副康成委員**

まず、観光のほうを少し、例えばアウトレット、560万人から——非常にコロナの関係で、なかなか密なところに行けないということで、御存じのように河内ダムとかああいうところに人が来たりとか、四阿屋とかは個人的にあるけど。

恐らく、今度、コロナも収まって、皆さんが遠くに、いろんなところまで行くとなったときに、果たして選択されるかどうかという問題もあるし、外国人の方も来られるかもしれない。

そういうときに、せっかく魅力があるところを、いかにブラッシュアップして、どういうときでも人が来るようなところにまで持っていつてもらいたいなというのが1つあります。

新たに自然を鳥栖市の見どころとして。

もう一つは、サガン鳥栖とか久光スプリングスとかそういうところとか、いろいろあるじゃないですか。

あわせて、新鳥栖駅を造るときに九州の観光拠点という形で、いろんなところに、九州観光推進機構、そういうところとタイアップしていろんな計画もされていた。

今回、林副市長は、佐賀に来られて、もともと観光のスペシャリストというか、だから、そういうところで、せっかくなんで、鳥栖の観光の方向性を、ぜひ定めてもらいたいなとい

う思いがあります。

#### 久保山日出男委員長

ちょっと時間もあれですので、端的に御説明願えればなと思います。

すいません、よろしく御協力お願いします。

#### 江副康成委員

産業政策の部分は、まさしく今、新産業集積エリアを造るところばかり焦点を当てるけど、あそこにどういう産業を持ってくるのか、鳥栖市の50年先まで何で飯食うのかということ。

あそこに何が来るのかということ、もうちょっと関心を持ったほうがいいんじゃないかなということの中で、1つとしてスマートシティというふうに書いているじゃないですか。

その中に、裾野市のウーブン・シティってあるけど、1つのパッケージになったところ、これが直接鳥栖のほうにはというのはなかなか厳しいかもしれないけど、今からどういったところのインフラが整ったところで、初めて次代の産業としていろんなところが入ってくるのかというやつを、よかったら共有したらいいんじゃないかなという意味でやったというのが、1つですね。

#### 西依義規委員

産業振興は、取りあえず、新産業集積エリアにどういった産業を持ってきたらいいかっていう落としどころでいいですか。

#### 江副康成委員

そこから全てが見えてくる、農業もスマート化というか、スマートシティと。

その部分だけじゃなくて、高度に集積したところじゃなくて、それがフィールドが広がっていくようなイメージとかあるけん、今後のウーブン・シティ、もしいけるのであれば、あるいは、スマートシティの会津若松も。岸田総理が一番初めに行ったスマートシティはここなんですよ。

一応皆さんにこういう形のやつを進めたいとお墨つきのところやけん、いいところ選んでもらってるなと思ったんですけど。

今後、どういう形で世の中のインフラというか、新しい産業が育つのかというのを共有できたらなという思いが一番強いです。

#### 齊藤正治委員

新産業は、新鳥栖駅を中心とした医療関係、それから情報関係、それとそういったことを——今度地区計画をつくるじゃないですか。

そういったところ、地区計画の中にそういうエリアをきちんと入れてしまうと、そしてやっぱり高速交通網と、そういった新幹線で遠路から来る、そういったことを、新しく鳥栖市が持つる最先端の施設が3つあるわけですから、そういったことを生かしながら、やっぱり、医療関係を中心としたそういう産業の誘致を、そこに立地するというのが、私は将来的にはやっぱり一番いいのではないかなというように思います。

#### 池田利幸委員

観光のほうでも、基本的にはアウトレットから御手洗の滝までをつなぎながら、それと、鳥栖駅、新鳥栖駅をどうつなぐのかっていうのが、今まで点になってる部分を線でどうつなげるのかっていうのが落としどころかなと。

それは山手側がそうだし、新産業集積エリアとか、向こうの産業にしても、逆は南側についても、鳥栖駅、新鳥栖駅からどうつないでいくのか、それでどれだけ集客っていうか人を寄せられるのか。

それが2つできたら、南と北と、観光と産業っていうのが全てつながっていく、点が線につながるといって落としどころをどうつくれるのかっていうのを示せば、一番形としてはいいのかなというふうに思ってます。

#### 江副康成委員

補足で、齊藤委員が言われたところの話で、量子医療推進機構ってよく言ってるじゃないですか。

あそこが、創薬とか、あるいはがん治療とかいうところをスマートシティでつくりたいと言われてて、新産業集積エリアに非常に関心を持ってあるわけですよ。

だから、そういうところを、全く根も葉もない話じゃないし、そういう大きな関心を持って——基本的に国家プロジェクトやけん。

一応、そういう話もあるということで、ぜひ、委員会でやっていただきたいなという思いがあります。

以上です。

#### 西依義規委員

大体まとめましたんで、ありがとうございます。

それで、視察に行きたいんですけど、まず、日程的に、年間スケジュールを見ていただいて、5月9日の週か16日の週で、皆さん方、御予定を空けていただきたいなと思ったんですけど。

できたら、さっき議運で5月9日の週に行くとなったんで、16日の週にできたら空けていただけんかなという。



まだ、今のところこの調査テーマで、先ほど、駅周辺整備は全然話に出てこなかったんですけど、駅周辺整備を2つ入れた視察先を考えてるんですよ。

それで、もちろん会津若松はやっぱり行くべき、だったら会津若松に飛んでもいいんで、そこは一応、私のほうにここだけはぜひ入れてくれ——あまりにも地理的に飛ばんならできるだけ入れたいんですけど。

日程だけはまず押さえて、そこから動こうかなと思ってるんで、16日の週です。

それで、あんまり意見が出なかったんですけど、駅周辺整備、皆さんいろいろ言われてるんで、知立駅が連続立体交差で、刈谷駅が橋上駅なんですよ。

だから、2つの駅周辺整備を見て、あとは生活道路とか市街化調整区域の地区計画の運用とか行くのか、それとも、先ほどの会津若松とかほかのところに行ってっていうのは、なるだけ2泊3日で、距離的に十分いけるのであれば、そこを取り入れたいと思いますんで、まず日程だけ抑えれば、あとはこっちで調整をしたいと思うんですけど。

16日の週は大丈夫ですか、皆さん。

火、水、木ぐらいでよかですかね。(発言する者あり)

じゃあ、大丈夫ですか。

じゃあ、5月の17、18、19日、先方に当たるのは、年度の終わりぐらいから当たったらよからうけん。

#### 久保山日出男委員長

執行部側から言ったら、月曜日は外してもらったほうが。

#### 西依義規委員

やけん、火、水、木ぐらいですね。

#### 久保山日出男委員長

そうしてもらったほうが、どこでも役所側は望みますね。

#### 西依義規委員

今見た中で、ここだけは行きたいみたいのところありますか。(発言する者あり)

Z o o mでもでもいいけど、やっぱり行った方が……(発言する者あり)

新幹線がいいということですか、新幹線でもいいですよ、新幹線が御希望ならもう新幹線で。(発言する者あり)

知立が連続です。刈谷駅が橋上駅です。(発言する者あり)

そういうの行きます？そういうのまだ形ないんでしょう。(発言する者あり)

亀山外して裾野まで行きます？(発言する者あり)

新幹線にチェンジします。

1時間ばかりですーっと行くけんね。広島まで行くけんね、ここから1時間あれば。

**池田利幸委員**

視察も全然行っていいんですけど、さっきから言うように、視察の前に国、県の話の先に聞きたいなと思うんですけど。

**西依義規委員**

じゃあ4月に聞きましょう、国、県に。

で、5月に行きましょう。

今度の委員会はそれにしましょう、4月の委員会は。

**久保山日出男委員長**

それでは、取りまとめのほうになってきましたが、ただ、テーマを決めたりしていくつもりでありましたけれども、いろんな御意見が出ましたので、その意見を踏まえた中で、まず、池田さんがおっしゃったように、県と国の事業計画といたしますか、そういうものを調査といたしますか、お聞きした上で、我々の考え方、テーマを最終的に決めて、行っていくと。

ひと月ずれるかもしれませんが、その形にならんかね、視察も入ってるけん。

**西依義規委員**

いや、6月本会議があるけん、5月をなくすと7月、8月になる。

**久保山日出男委員長**

どげんかな。

**西依義規委員**

こっちがいいでしょう。

4月に勉強会、5月に視察、よかですか、取りあえず。

で、6月に本会議、7月にまた……

**久保山日出男委員長**

4月に勉強会ですね。そして5月に視察。

**西依義規委員**

6月は通常の委員会して、7月、8月にまたこのテーマのところ。

**久保山日出男委員長**

じゃあ、8月までは一応これで。

想定されるものを、今副委員長が申しあげましたように、そのようにさせていただいて、それでようございましょうか。

**西依義規委員**

取りあえずは名古屋の2つは外さんでよかですか。

別に資料がついてるんですけど、知立は、事業計画の見直しについてという連続立体交差の絵と、刈谷駅が、ペデストリアンデッキ……（「1日目は知立1か所」と呼ぶ者あり）

1日目は移動があるけん午後から1か所。

2日目も名古屋に泊まって刈谷1か所で、あとは三重県に行こうかなって。

ここがちょっと皆さん方が違うなら、どこか違うところ、新幹線でどこかに移動するなりで。（発言する者あり）

知立と刈谷ですか。

同じ県内。（「名古屋に泊まるというけん、知立には泊まられんと」と呼ぶ者あり）

いやいや、知立に泊まってもいいですよ、全然。

もちろん、名古屋のベッドタウンのまちやけん。

地元の……、そこは考慮して。

ほかに大丈夫ですか、行きたいところありますか？このテーマで。

できたら、テーマを決めたんで、テーマに沿った視察をやりたいんで。

本当は、道路新設とかいろんな事例があれば、そこに行くとか、通学路とかあればね。

よさそうなところがあれば。（「裾野はだめと」と呼ぶ者あり）

いや、裾野いいですよ。（「どこ」と呼ぶ者あり）

裾野市っていうところ、前に戻ってもらって、静岡県裾野市っていうところがあるんですよ。

産業政策……（「よかじゃんこれで」と呼ぶ者あり）

よかですか。

いや、裾野に行きたいって言ったけん。（発言する者あり）

#### 久保山日出男委員長

それじゃあ、江副さん御理解よかですか。

また次年度もありますから。

#### 西依義規委員

駅周辺整備を入れたけん、駅に関係するところを入れて……（発言する者あり）

#### 久保山日出男委員長

そうしたら、ただいま決めていただいた分、御理解よかですか、視察の件は。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

よろしいですかね、江副さん。

よろしくお願いします。（発言する者多数あり）

じゃあ、そのようではようございましょうか。

貴重な御意見ありがとうございました。



**久保山日出男委員長**

以上で、本日の日程は終了したいと思います。

これをもちまして、建設経済常任委員会を閉会いたします。

**午前11時52分散会**

鳥栖市議会委員会条例第29条の規定によりここに押印する。

鳥栖市議会建設経済常任委員長 久保山 日出男

